

学校評価（後期）報告書



浜松市立相生小学校
令和6年3月

学校教育目標

風の子 太陽の子～ともに未来を創る～

① 学び合い： なりたい自分に向かって粘り強く学び合い、ともに成長する子

○考える力を身に付ける。

○友達と伝え合い、自分の考えを深めることができる。

○学ぶ意義を知る。

・体育科を窓口として全教科に広がる資質・能力を育むための授業改善をする。

・学びのサイクルを回す「相生スタンダード」を基に、学年の子供の実態に合わせて学び方や交流の仕方、まとめの書き方などを共有していく。

・話し合いや振り返りを行う際には、視点や場を充実させる。

・ICTの活用を通して個に応じた指導をしたり、学び合いの場を設定したりする。

・「風の子・太陽の子のきまり」と「学習用具のきまり」を徹底する。

・朝読書・朝学習の充実を図る。

② 認め合い： 自他のよさを知り、認め合い高め合う子

○自分のよさ・友達のよさがわかる。

○自分で判断し、よいことを進んで行う。

○よりよい学級・学年・学校にするために働くことができる。

・学級・学年内での子供同士の称揚の場を設ける。

・学活、生活科、総合的な学習の時間において、自己のよさを振り返る時間を設ける。

・あいおい11か条の周知と徹底をする。

・生活の月めあての手立ての共通理解と徹底をする。

・教師が挨拶の見本を示す。

・学活や道徳科の授業等において挨拶の意義を学ぶ場を設ける。

・委員会活動・係活動を通して、働くことのよさを味わわせ、自主性を育てる。

・キャリアパスポートを活用し、自分を見つめる場を設ける。

③ 鍛え合い： 心身ともに健康で、体力の向上を目指して鍛え合いあきらめずに挑戦し続ける子

○体を動かす楽しさを味わい、進んで運動をする。

○命を大切にし、自己管理ができる。

・体育的行事（新体力テスト、運動会、持久走大会）の充実を図る。

・生き生きタイムを使ったHello!スポーツ、や持久走練習、縄跳び検定を奨励する。

・友達と仲良く外へ遊びに行くことや学級遊びをみんなで行うことを呼び掛ける。

・さわやかチェック（清潔検査）を実施し、生活習慣の徹底を図る。

・保健週間をとおして、児童自身と家庭への啓発を行い、健康への関心を高める。

・給食週間を通して、感謝する気持ちを高める。

・心の日を設け、自己肯定感を高める取り組みを行う。

・年4回の避難訓練を実施する。

・交通安全を意識させる行事を設定する。

・正しい廊下歩行を徹底する。

④ 支え合い

○家庭・地域と連携・協働し、ともに歩む学校

○心身ともに健康で、明るく元気な教職員がいる活力ある学校

・コミュニティスクール ・キャリア教育の推進 ・教育の情報化（GIGAスクール構想）

・家庭教育へのサポート ・働き方改革の推進

令和5年度学校評価アンケート（12月）

○集計 一覧

R5 . 12実施

	児童	よく出来ている十 大 体 で き て い る（％）	保護者	よく出来ている十 大 体 で き て い る（％）	教職員	よく出来ている十 大 体 で き て い る（％）
なり び たい 自 分 に 向 か つ て 成 長 す る 子 強 く	授業でよく考えて学習している。	88. 4 7月89. 1	子供は学校での授業の学習内容についてよく考え、理解している。	83. 7 7月84. 7	子供が考える力を身に付けられるような授業をしている。	91. 3 7月86. 0
	授業において友達と意見を伝え合い、自分の考えを深めることができている。	82. 2 7月82. 4	子供は、学校の授業を通して自分の考えを深めている。	77. 8 7月77. 0	子供たちが仲間と意見を伝え合いながら、自分の考えを深められるような授業をしている。	91. 3 7月63. 0
	何のために学習しているかが分かっている。	90. 1 7月90. 9			子供が学習する意義を知ることができるように手立てを講じている	90. 9 7月79. 0
			子供は、家庭学習に自ら進んで取り組んでいる	77. 5 7月78. 2		

自 他 の よ さ を 知 り 、 認 め 合 い 高 め 合 う 子	友達のよいところに気付くことができる。	89. 7 7月88. 0	子供は、友達のよいところに気付き、協力し合うことができる。	94. 7 7月92. 5	自分や友達のよいところを認め、仲良く生活できるような手立てを講じている。	100 7月89. 0
	よいことと悪いことを判断し行動することができる。	81. 9 7月82. 8	子供は、よいことと悪いことを判断し、正しく行動することができる。	90. 3 7月91. 7	善悪を判断し、行動できるような手立てを講じている。	91. 3 7月100
	いつでもだれに対してもあいさつをすることができる。	86. 5 7月85. 0	子供は、地域や家庭で進んで挨拶することができる。	77. 5 7月85. 2	いつでも誰にでも挨拶ができるような手立てを講じている。	78. 3 7月59. 0
	よりよい学級・学年・学校にするために進んで働くことができる。	90. 3 7月88. 9	子供は、人のために進んで働くことができる。	87. 2 7月84. 9	よりよい学級・学年・学校にするために働くことができるような手立てを講じている。	87. 0 7月100

心 身 と も に 健 康 で 、 鍛 え 合 い 、 あ き ら め ず に 挑 戦 し 続 け る 子	体を動かすことが楽しく進んで運動している。	84. 5 7月84. 4	子供は、体を動かすことが好きで、学校で進んで運動している。	81. 3 7月84. 7	体を動かす楽しさを味わい、進んで運動するような手立てを講じている。	90. 9 7月76. 0
	健康に気を付けて、生活している。	90. 8 7月86. 7	子供は、健康に気を付けて生活している。	91. 2 7月91. 1	健康に気を付けて生活ができるような手立てを講じている。	91. 3 7月86. 0
	周りをよく見て安全に生活することができる。	87. 5 7月86. 1	子供は、周りの状況を見て安全に生活することができる。	91. 6 7月91. 7	周りの状況を見て安全に生活できるような手立てを講じている。	91. 3 7月79. 0

キ ャ リ ア 教 育	相手の話をよく聞き、友達と協力して行動している。	89. 3 7月89. 3	子供は、相手の話をよく聞き、友達と協力して行動することができる。	82. 3 7月90. 1	子供が相手の話を聞き、友達と協力して行動できるような手だてを講じている。	95. 6 7月84. 0
	自分のよさに気付き、自信をもっている。	79. 8 7月75. 2	子供は、長所を伸ばしたりさらに高めようと努力したりしている。	81. 1 7月83. 1	子供が自分のよさに気付き、自信をもつような手立てを講じている。	91. 3 7月87. 0
	失敗を恐れず自分の考えた方法で繰り返し挑戦している。	81. 3 7月81. 1	子供は、失敗を恐れず自分の考えた方法で繰り返し挑戦することができる。	74. 7 7月72. 6	子供が失敗を恐れず自分の考えた方法で繰り返し挑戦できるような手だてを講じている。	82. 6 7月80. 0
	夢や目標に向かって努力したり、意欲をもって学ぶことができる。	83. 9 7月88. 5	子供は、夢や目標に向かって努力したり、意欲をもって学んだりすることができる。	80. 0 7月76. 4	子供が夢や目標に向かって努力したり、意欲をもって学ぶことができるような手立てを講じている。	91. 3 7月97. 0

児童	よく出来ている＋大 体できている(%)	保護者	よく出来ている＋大 体できている(%)	教職員	よく出来ている＋大 体できている(%)
学校は楽しい。	87.7 7月90.4				
	90.8 7月90.7				
先生は授業でキャリア教育で育 たい4つの力について話してく れる。	89.7 7月89.1	相生小のキャリア教育で育て たい4つの力について知っている。	84.6 7月76.6		
先生はchromebookを使った授 業をしてくれる。	94.8 7月84.4	学校は、タブレットパソコンや 大型テレビなどのICT機器を使 って授業をしている。	91.4 7月80.8	ICT機器を活用する場を設定し 積極的に利用している。	95.7 7月50.0
先生のほかに学習ボランティア さんなどに支援してもらった学 習や活動は楽しい。	91.0 7月92.8	学校では教師のほかに学習ボ ランティアさんなどに支援して もらって学習や活動を行っている。	91.4 7月88.9	コミュニティスクールの導入に より、地域や保護者の協力を 得ることができている。	87.5 7月90.0
		学校は、子供に寄り添い教育 活動をしている。	94.1 7月92.9		
		学校は、学校学年だよりさくら 連絡網などで学校の教育活動 を知らせている。	97.4 7月95.6	学校学年便り、さくら連絡網 での連絡等を通して家庭教育 へのサポートができている。	82.6 7月97.0
		学校は子供のことを相談しや すい。	89.9 7月87.5		
				職員の子供と向き合う時間の 確保ができるような手立てが 講じられ、自らのタイムマネ ジメントができている。	43.5 7月43.0

○後期学校評価考察

学び合い(知)

なりたい自分に向かって粘り強く学び合い、ともに成長する子

- ・考える力を身に付ける。
- ・友達と伝え合い、自分の考えを深めることができる。



○授業でよく考えて学習している。

児童 88.4% 保護者 83.7% 教職員 91.3%

保護者の評価が、児童と職員の評価に比べて低い。「考えて学習する」ということの具体的なイメージが共有できていない可能性がある。「どのように考えるのか(考え方)」「どんな姿なのか」などを具体的に示した授業実践を行い、児童や保護者にとっても成果が実感できるように工夫したい。

○授業において友達と意見を伝え合い、自分の考えを深めることができる。

児童 82.3% 保護者 77.8% 教職員 91.3%

教職員と比べて、児童と保護者の評価が低い。相生スタンダードをもとに、授業で伝え合いの場を設定しているが、単なる意見を伝えることなく、分かりやすく伝えたり相手の意見を分かろうとして聴いたりして、「自分の考えをさらに良くする」「多様な考え方を知る」など、目指す伝え合いにするための工夫に課題があると考えられる。わかりやすい伝え方や聞き方などの指導をして、伝え合いの活動に取り組みたい。

○何のために学習しているかが分かっている。

児童 90.1% 教職員 90.9%

前期とほぼ変わらない評価となっている。引き続き本校の目指す4つの力(キャリア教育)を子供たちに伝え、学ぶ意義を伝えていきたい。

○子供は家庭学習に取り組んでいる。保護者 77.5%

保護者からの評価は、前期と比べて10ポイント以上向上している。家庭学習の出し方の工夫や学習方法の紹介、担任による価値付けなどの取り組みを継続したい

認め合い(徳)

自他のよさを知り、認め合い高め合う子

- ・自分のよさを知り、友達のよさが分かる。
- ・自分で判断し、よいことを進んで行うことができる。
- ・よりよい学校学年学級にするために働くことができる。



○友達のよいところに気付くことができる。

児童 89.7% 保護者 94.3% 教職員 100%

前期に比べ数値が向上している。活動や行事ごとによさを伝え合う機会を設定した成果と思われる。さらに教科学習においても友達のよさを認め合う場を位置づけていくことで、さらに数値が向上すると思われる。

○よいことと悪いことを判断し、行動することができる。

児童 81.6% 保護者 90.3% 教職員 91.3%

児童アンケートに「相生11か条をしっかり守っている」という文言を付記した。児童がより具体的に生活場面を自己評価したことで、児童の数値が低下したと思われる。善悪は理解していても、周囲に流されたり、失敗を繰り返してしまったりするなど、自分の意志で行動できない弱さが見られる。規範意識を高めていくため、「相生11か条」を意識させながら繰り返し指導に当たっていく。

○いつでもだれに対しても挨拶をすることができる。

児童 85.5% 保護者 77.5% 教職員 77.3%

後期初めより、生活のめあてや挨拶運動で指導を強化したため、教職員は前期に比べ18%向上した。一方で児童4.5%、保護者7.5%と低下していることから、挨拶しようとする児童の意識は高まっていないと思われる。学校内はもとより家庭や地域などでも挨拶が日常化されるよう、粘り強く声掛け、称揚を継続していく必要がある。

○よりよい学級・学年・学校にするために進んで働くことができる。

児童 90.3% 保護者 87.2% 教職員 86.9%

児童、保護者は数値が向上した。係や委員会活動を核に任された仕事に真面目に取り組む子多い。しかし、自分で考えて働く姿を目指したいという思いから、教職員の評価は低下していると思われる。児童が話し合って自治的な活動を展開できるよう環境を整えていく必要がある。

鍛え合い部(体)

心身ともに健康で、鍛え合い、
あきらめずに挑戦し続ける子

- ・体を動かす楽しさを味わい、進んで運動する。
- ・命を大切にし、自己管理ができる。



○体を動かすことが楽しく、学校で進んで運動している。

児童 84.4% 保護者 81.3% 教職員 90.9%

今年度の設問には「学校で」という文言を入れた。保護者については、昨年度より4%以上向上している。児童、教職員は役3%低下しているが、概ねよい結果と言える。ただ、以下の2つ項目の結果よりも保護者の数値が低いということは、運動に対しての思いや期待をもっている人が多いことが感じられる。

○健康に気を付けて生活している。

児童 90.9% 保護者 91.2% 教職員 91.3%

今年度の設問には、「清潔な生活、すこやかチェック、給食など」と具体的に文言を入れたため、回答者には場面を想像しやすくなっている。ただ、主の文言が「健康に気を付けている」という内容のため、「感染症対策でマスクをしているから健康に気を付けている」という漠然とした捉えである可能性もある。従って、3者ともよい結果であるものの、この結果だけでは判断できない部分もある。

○周りをよく見て安全に生活することができている。

児童 87.3% 保護者 91.6% 教職員 73.9%

今年度の設問には、「登下校や廊下歩行、教室での過ごし方、遊び方など」と具体的に文言を入れたため、回答者は場面を想像しやすくなっている。児童、保護者ともに昨年度並みの結果だが、教職員は20%も低下している。具体的な場面想定をしたことで課題意識を明確にもったと言える。

キャリア教育

自分の夢や目標をもち、夢や目標の実現に向けて努力することができる。

- ・温かくかかわる力
- ・自分を高める力
- ・あきらめずに挑戦する力
- ・夢をもちつなげる力



○相手の話をよく聞き、友達と協力して行動している【温】

児童 89.4% 保護者 92.3% 教職員 95.6%

○自分のよさに気付き、自信をもつことができている【高】

児童 79.5% 保護者 81.1% 教職員 91.3%

○失敗をおそれず自分の考えた方法で繰り返し挑戦している【挑】

児童 81.4% 保護者 74.7% 教職員 82.6%

○夢や目標に向かって努力したり、意欲をもって学んだりすることができる【夢】 児童 83.8% 保護者 80% 教職員 91.3%

キャリア教育の4つの力が児童、保護者ともに浸透してきている。よって、学習や活動での具体的な場面を想像して回答することができていると思われる。

昨年度課題となっていた【高】【挑】については、今回数値がよくなってきている。引き続きキャリア教育の年間計画を確実に遂行し、日々の授業、活動での一人一人への価値付けを行っていくことが大切だと考える。また、身近な大人であるCSボランティアさんとの関わりでキャリアの力がより高められると考える。

○学校関係者評価

2月27日(火)に開催した学校関係者評価委員会(学校運営協議会)において、自己評価結果、考察及び改善方策について委員に報告。委員からは以下のような意見があった。

- ・風の子太陽の子応援団として様々なボランティアに参加しているが、児童、保護者、教員から評価され嬉しく思っている。地域に帰っても子供たちと話ができるようになり、自分自身も変わってきた。
- ・学校に来られない子への支援、発達障害についての理解と支援について、地域からも応援していきたい。
- ・若い先生たちが多く、いじめ対応の経験が少ないと思われ心配だったが、学年主任や生徒指導の教員を含めて学校体制ですぐに対応し、聞き取りを丁寧に行って対策会議を開いていることを聞き、安心した。これからも子供や保護者に寄り添った対応をしてもらいたい。
- ・自他のよさを知り、認め合い高め合う子については、自己肯定感を育てることが大切。少し高いハードルを乗り越える取り組みは重要で、ぜひ仕掛けてほしい、学校の取り組みに共感する。
- ・行事や各学年の活動内容から、児童が友達と認め合ったり、励まし合ったり自分の目標に向かって頑張ったりしていることを認識した。また、キャリア教育や風の子太陽の子応援団の活動により、児童の学習内容が充実したことを理解した。

○学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について改善を図る。

- ・風の子太陽の子応援団に登録してくださっている方たちへのボランティアの募集や連絡システムについて、より活動しやすいよう計画的に進めていき、充実させていく。
- ・主体性をもち学校生活を送ること、みんなのことも考えて行動すること、この二つを両輪にして、自分が自分を育てていくという環境をつくり、キャリア教育を充実させていく。
- ・いじめについては、これからも迅速かつ適切に組織的に対応する。
- ・活動や行事ごとに良さを伝え合う機会を設定することで自己肯定感が高まってきている。また、風の子太陽の子応援団のボランティアさんからの声掛けからも高まっている。さらに教科学習でもよさを認め合う場を位置付けていく。